※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術２　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術には、私たちが気づいていない大事なもの、見過ごしているものを捉え、多くの人に伝える力があります。自分の身の回りだけでなく、広く社会を見渡して考え美術を通して伝えたいことは何か考え、制作を中心に学習します。
形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の扱い方・使用方法を学びながら事故の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

２　学習の到達目標

美術Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、造形的な視野について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
造形的な美しさや、表現の意図や創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気づきをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能や知識を身に着け、形や色彩、素材などの造形的特徴を捉えて主題に沿った表現が行えているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現できているか、また、他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養われているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	絵画表現	[絵画・デザイン] ・「フェスティバル」をテーマにモダンテクニックの手法を取り入れた作品を制作する。 ・主題をもとに構想を練り、アイデアスケッチ等で自分の表現意図に合う方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追求しやり切る。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	a:（知識・技能） 「モダンテクニック」の技法を理解し、テーマである「フェスティバル」に合った素材を作ることができる。 b:（思考・判断・表現） 「フェスティバル」というテーマをもとに感じ取った事や考えたことから主題を生成し、色彩・構成を工夫し構想を練ろうとしている。 （鑑賞） 他の生徒の作品から見えてくる良さを感じ取り、表現への理解を深めることができている。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 自身のイメージからアイデアスケッチや下描きから構想を練り表現に結びつけることができたか。鑑賞や振り返りシートで主体性を持って取り組むことができたか。	作品 ワークシート 小テスト	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート
2学期	CMづくり	[映像メディア表現] ・グループを作り「学校紹介」の動画 CM15 秒を制作する。 ・「CapCut」アプリを使い見る人が興味をそそられるような動画を制作する。 ・グループで制作する中で、自身の役割を明確にし、貢献できるようアイデアを出す。	a:CM についての知識と「学校紹介」についての動画制作ということについて理解し、作品にすることができる。 （知識・技能） b:「学校紹介」CM の中でオリジナルのアイデアとなるようコンセプトを考え、カメラワークや編集を工夫し作品作りをおこなうことができる。 c:グループ制作で自身の活躍とグループの貢献度について相互で評価をおこなう。	作品 ワークシート 小テスト	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	日本画制作	[絵画] ・野菜や果物を自由に組み合わせてスケッチをする。 ・スケッチをもとに構想を膨らませ構想を練る。 ・日本画材料について理解し、制作意図に応じて材料や用具の特性を活かして表現する。 [鑑賞] ・相互に鑑賞し、自身の作品について客観的に見ることができ、他者の良さを発見する。 ・日本美術について描かれた当時の美術文化や価値観などを考える。	a:対象についてよく観察し、構想を膨らませ主題を生成することができる。 b:意図に応じて材料や用具の特性を活かし、表現方法を工夫して主題を追求して表現している。 c:多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について観察し、描き表現しようとしている。 ・日本文化や諸外国の美術文化について理解を深めようとしている。	作品 ワークシート 小テスト	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート
3学期	POPUPカードづくり	[デザイン] ・ポップアップカードの特性を知り誰に、何のために贈るカードなのかについて考え、色画用紙等を使ってカードを作成することができる。 ・カードを贈る対象やメッセージからデザインや配色を考えアイデアスケッチや展開図を作成することができる。	a:ポップアップカードの飛び出す仕組みについて知ることができ、制作することができる。 b:飛び出す仕組みを活かし、自身が考えたコンセプトに照らし合わせ、デザインと仕掛けを考えることができる。 c:自身の考えたアイデアを通して配色計画をし、効果的に表現できるよう粘り強く課題に取り組もうとしている。	作品 ワークシート 試作作品	作品 ワークシート 振り返りシート	作品 取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度